



マネージャー 白田 織絵

私は東京都の調布市に生まれてからずっと住んでいます。実は名古屋さんも調布市出身で、私たちの中学校はお隣り同士。今回は、渋谷から少し離れた調布市の街歩きをご紹介します。

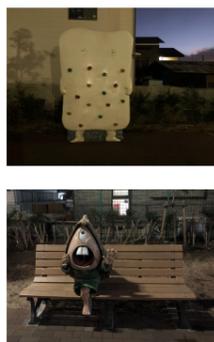
調布市、特に調布駅前付近には、至るところにゲゲゲの鬼太郎がいます。実はゲゲゲの鬼太郎の作者である水木しげるさんが、長年調布に住んでいたこともあり、街には至るところに鬼太郎や仲間の妖怪たちがいるのです。水木さんは調布駅周辺に住んでいる人は一度はお会いしたことがあるのでは？というくらい、生前はよく調布の街を歩いていらっやいました。そして水木さんの妖怪たちも調布の街に自然と馴染んでいて、街歩きをしながら妖怪を見つけたら面白いかも！？と思い、少しだけ紹介します。



街で見かけるマンホール。実はここにも鬼太郎たちが描かれているのです。街歩きをしながらこんなマンホールが見つかったら子どもたちはずっと下を見て歩いてしまいますかね！



これは夜しか見れないレアスポット。駅前の広場に夜になると毎日いつの間にか現れてきます。



こちらは調布駅から5分くらい歩いたところにある、妖怪たちがたくさんいる広場です。日中は子どもたちがたくさん集まり大盛況な場所なのですが、夜になると一転、妖怪たちが今にも動き出しそうなほどです。

駅から少し歩いたところにある商店街にもたくさん妖怪がいて、ここも朝と夜では妖怪たちの表情がちょっと違うような…。

街のいたるところに妖怪がいて、街に妖怪が自然と溶け込んでいる風景が、水木さんが描いた世界とリンクしているような気がしています。それから日常の中でも、調布周辺ではチャンチャンコと下駄を履いている子どもを見かけることがあります。(イベントもないなんでもない日です)その姿の子どもたちを見かけるたびに、私の頬がゆるみ目尻が下がるのですが、ついこの前は、この真冬にコートも着ないでチャンチャンコと素足に下駄を履いた4歳くらいの子を見かけました。私はマスクの下でつついニヤニヤしていましたが、隣で歩いていたお父さんの表情は私とは対照的で、肩を落とし苦笑いでした…。そんな妖怪が自然と溶け込む街、調布に、よかったら街歩きにいらしてください！

small alley

2月の保育主題

『小さなつぼみの微笑む顔』
春に向けた目覚めと暖かなひだまり

社会福祉法人 東香会

保育理念 『いきいき』

合言葉 『すべて子ども中心』

基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどものたからもの」を大切にします』

『地域で安心して子育てができるように！』

『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』

名古屋さんの の コラム

みなさま、small alley festival 2023 へのご参加ありがとうございました。

お手伝いをしてくださった保護者の方々、お忙しいお仕事の合間を縫って練習や準備などのご協力ありがとうございました。フードエリアの混雑解消や導線の確保等、様々な課題が見えたので来年度にその反省を生かしていきます。至らないところもあったと思いますので、よろしければコドモンのアンケートにてご意見いただければと思います。

私はテクノが好きでいくつか野外フェスに参加してきましたが、small alley fesはそれよりも価値のあるものだと自負しております。それは子どもたちが大人と同じスタンスでフェスに参加しているところです。

子どもたちのお店やショー、バンドはいつも参加しているフェスにはない要素です。大人だけでは乏しいアイデアが、子どもによって豊かになるのがいつもの楽しみで、コロナで開催できずオンラインになった時もどんな要素のものが生まれるかワクワクしていました。今年も子どものお店の案が出されたときに、驚いたのが「相撲」でした。フェスで相撲大会が開催されることなんて見たことないです。最初はお店として成り立つのだろうかかと心配していましたが、実際蓋を開けて見ると子どもたちが楽しそうに相撲をとっていて、“そうだそうだこれでいいんだ”と思いました(笑)

なるほど…

まずフェスで楽しむ“自分”がいる、「楽しいこと」が元となっている提案だったのですね。他のピタゴラもフィギアもイルカショーもファッションショーもそうですよね。

子どもたちが思う“楽しい”がたくさん詰まっている。商業的ではないからこそ実現できるお店たちがあるのだ、これがsmall alley fesだ！とつくづく思いました。

大人が企画したバンドやDJと子どもが企画したものたちが同じように存在しているこのsmall alley fes は唯一無二のものなのです。

例えば、スタンプ屋さんです。ただスタンプを押すだけではなく、子どもたちが出すクイズに正解したら、スタンプがもらえるという案です。

- ・クイズってどんなものを想像しているのだろう。
- ・いくつかの種類のクイズが用意される？
- ・そんなことをしていたら、混雑して仕方がないだろう…

無理無理そんなことできない！と大人はこんな風に考えると思います。でもそれを実現したい、うまくお店を回すことではなく、そんな遊び心があるお店と一緒に開いてみたい！私はその話を聞いた時になんて面白いのだろうと心が踊りました。最終的にはそんな案も「やっぱりやらない」となったそうですが。子どもたちが入ると面白い提案がポコポコと生まれるのが面白いですよ。

そして何よりもフェス中の子どもたちの表情が柔らかかったことが印象的でした。子どもたちが親の元を少し離れて自由に走り回ったり、転がったり、踊ったり、いつも過ごしている場所だからこそ、安心して楽しめていたのだなと思います。これは毎日過ごしていて知っている場所だから生まれる安心感だと思います。とはいえ、フェスを野外でできたらと夢見ることもあります(笑)

来年のフェス、こんな企画したい！などありましたら是非保育者たちに声をかけてください。

来年はどんなお店が並ぶのか、すでに楽しみです！

2月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3 節分	4	5
6	7	8	9	10	11 建国記念日	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23 天皇誕生日	24	25	26
27	28					

お知らせ

- ・ **0歳児内科健診**
- ・ **保護者セッションについて**

1年間の振り返りや保護者同士でお茶を飲みながらお話をしたり、1つのテーマからセッションができるような企画を考えております

ー 看護師より ー

0歳児内科健診
0歳児の皆さんは当日なるべくお休みにならないようご協力お願いいたします。

1月の感染症

ウイルス性胃腸炎 1名
インフルエンザA型 12名
新型コロナウイルス感染症 2名

ー キッチンより ー

いよいよ節分の季節がやってきました。節分は邪気を払い、無病息災を願う行事です。おなじみの豆まきも、新年を迎えるための邪気祓いの意味があります。

2月3日のランチは、赤おにごはんといわしの竜田揚げ、おやつは恵方巻を提供予定です。節分といえば「豆まき」「恵方巻」がよく知られていますが、いわしを食べて体の中の邪気を追い払うという風習があります。そして2023年の恵方は『南南東』です。みんなで黙って最後まで食べることができるでしょうか！？新しい1年がよりよい年になりますように！